

報道関係者各位

—川崎市市民ミュージアム 映像ホール 2019年6月、8月の特集上映—

映画を通じて、世界を辿る！

世界映画紀行 東南アジア編

2019年6月/8月 川崎市市民ミュージアムにて開催

このたび、川崎市市民ミュージアムの映像ホールでは、2019年6月、8月の2期にわたり、「世界映画紀行 東南アジア編」(全4日間)を開催します。

本特集は、各地の映画作品から世界の様々な地域を辿るシリーズです。第1回目は植民地支配からの独立を経験し、近代化と民主化を模索しながら、多様な文化が混ざり合う東南アジア地域に焦点をあてます。

6月22日と23日は、ガリン・ヌグロホ(インドネシア)、キドラット・タヒミック(フィリピン)のデビュー作。8月24日と25日は、アピチャップン・ウィーラセタクン(タイ)、ソト・クォーリーカー(カンボジア)の作品をとりあげ、東南アジア映画史を代表する監督たちの新旧の名作、計4作品を紹介します。

主催：川崎市市民ミュージアム

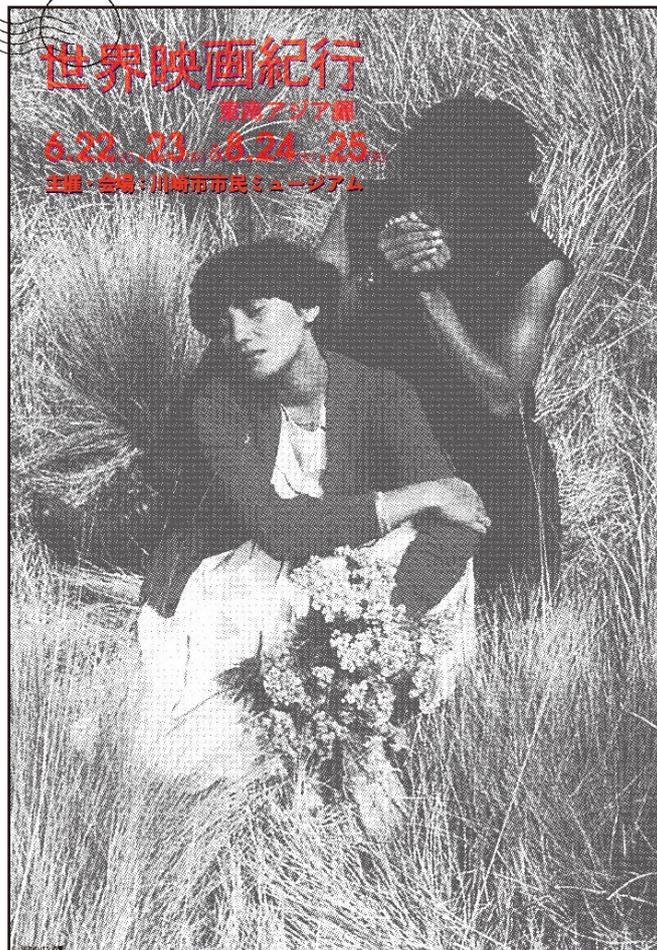
協力：国際交流基金アジアセンター、公益財団法人川崎市国際交流文化協会

■上映スケジュール(全8回上映)

6月22日[土]、23日[日]、8月24日[土]、25日[日]
各日 11:00 / 14:00

■上映作品(全4作品)

『一切れのパンの愛』(1991) / 『悪夢の香り』(1977)
『シアター・プノンペン』(2014) / 『光りの墓』(2015)



市民ミュージアム

PICK UP 『光りの墓』 RAK TI KHON KAEN



© Kick The Machine Films / Illuminations Films (Past Lives) / Anna Sanders Films / Geißendörfer Film- und Fernsehproduktion / Match Factory Productions / Astro Shaw (2015)

2015年/タイ・イギリス・フランス・ドイツ・マレーシア/カラー/122分/DCP
監督：アピチャップン・ウィーラセタクン
出演：ジェンジラー・ポンパット・ワイドナー、ジャリンパッターラー・ルアンラム

“眠り病”に侵され眠り続ける兵士たちと古代の王の墓をめぐる謎、兵士を介護する女性の愛の記憶など、様々な要素が幾層にも重なり合う。『ブンミおじさんの森』でカンヌ国際映画祭パルムドールを受賞したアピチャップン・ウィーラセタクンが自身の故郷であるタイ東北部イサーン地方を舞台に独特な光、音、色彩設計とともに紡ぐ。

8月24日[土] 11:00 / 8月25日[日] 14:00

『一切れのパンの愛』
監督：ガリン・ヌグロホ



『悪夢の香り』
監督：キドラット・タヒミック



『シアター・ブノンペン』
監督：ソト・クォーリーカー



《開催概要》 世界映画紀行 東南アジア編

日程：2019年6月22日（土）、23日（日）、8月24日（土）、25日（日）＜全8回上映＞
11：00／14：00（入替制／15分前開場）

料金：1プログラムにつき 一般600円、65歳以上・大学生・高校生500円、小中学生400円
※未就学児・障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料。

会場：川崎市市民ミュージアム 1F 映像ホール（全自由席／定員270名）

申込：当日1F 総合案内で10：00～15：00までチケットを販売（12：00～13：00は販売休止）

※前売り券はありません。満席になり次第販売を終了します。

※65歳以上・大学生・高校生・中学生、障害者手帳等をお持ちの方は、いずれも証明できるもの（原本）をお持ちください。

- 上映スケジュール詳細は別添のチラシまたは当館HP（<https://www.kawasaki-museum.jp/cinema/17677/>）をご確認ください。
- チラシに使用している画像はすべてご提供可能です。当館のお問い合わせ先までご連絡ください。

《関連情報》

『サタンジャワ』のガリン・ヌグロホ監督をはじめ、東南アジア界を牽引し、世界的に活躍する巨匠が一堂に会する貴重な特集上映&シンポジウムを実施。

《響きあうアジア 2019》特集上映「東南アジア映画の巨匠たち」

主催：国際交流基金アジアセンター／共催：公益財団法人ユニジャパン

- 7月3日 [水] シンポジウム（会場：東京芸術劇場 ギャラリー1）
- 7月4日 [木] ～10日 [水] 映画上映（会場：有楽町スバル座）

※詳細は「響きあうアジア 2019」公式サイトをご確認ください。（<https://asia2019.jfac.jp/>）

《川崎市市民ミュージアム 映像ホール》



開館当初からコレクションしている戦後独立プロダクションの作品や海外作品などの収蔵品を活用し、上映会を定期的に行なう。日本の美術館・博物館では数少ない映画部門がある施設として、映画を収集・保存・上映しています。近年では貴重なフィルム上映に加え、2016年には4K対応のデジタルシネマプロジェクターも導入。映画ファンから地元の方まで、心に残る劇場体験をお届けします。

《川崎市市民ミュージアム 施設概要》



多彩な表情を持つ都市、川崎。川崎市市民ミュージアムは、「都市と人間」という基本テーマを掲げて1988年11月に開館した博物館と美術館の複合文化施設です。

- 住所／〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力1-2（等々力緑地内）
- 開館時間／9:30～17:00（入場は閉館の30分前まで）
- 休館日／月曜日（休日の場合は開館）、祝日の翌日（土日の場合は開館）、年末年始
- 料金／入館・博物館展示室は無料。企画展、アートギャラリー展は展覧会によって異なる。
*障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は企画展観覧無料。
*20名以上の団体でご利用いただく場合、割引有。
- アクセス／JR・東急「武蔵小杉」駅北口1番乗り場からバスで約10分「市民ミュージアム前」下車すぐ

【プレスリリースお問い合わせ】川崎市市民ミュージアム 営業・広報担当 久保

TEL：044-754-4500（休館日を除く9:30～17:00） FAX：044-754-4533

MAIL：pr_kcm@kawasaki-museum.com

HP：http://www.kawasaki-museum.jp/ *指定管理者：アクティオ・東急コミュニティー共同事業体